

令和3年度千葉県獣医師会西部ブロックオンラインセミナー

対象：獣医師・動物看護師・病院スタッフ

# これからはじめる猫の跛行診断

10月24日(日)13:30～15:30



講師 本阿彌 宗紀 先生

東京大学大学院農学生命科学研究科  
附属動物医療センター 整形外科

## 概要

猫の整形外科疾患は犬に比べると圧倒的に少ない。当センターへの跛行を主訴とする来院比率を見ても犬が9割、猫が1割程度である。しかしながら、近年の猫の飼育頭数は犬のそれを軽く追い抜き、その増加率も無視できない。飼育頭数が増えれば、疾患も増えるのは当然のことであり、今後は猫の跛行症例が増えていくことが予想される。主な猫の跛行の原因は外傷に起因する脱臼や骨折、靭帯損傷などである。さらに、最近では猫の変形性関節症は潜在的にかなり多く存在していることがわかってきている。しかし、犬と似たような整形外科疾患もあれば、猫特有の疾患も存在する。犬と同じ疾患名だが、扱い方が全く異なる場合もある。そこで、本講演では猫の整形外科疾患の診断法や治療法、犬との違いについて整理し、これだけは知っておいて欲しい疾患について解説する。

お申込みは下記のWeb申込フォームURLまたは、QRコードからお申込みください。

パソコン用フォーム <https://ws.formzu.net/fgen/S7697484/>  
スマホ用フォーム <https://ws.formzu.net/sfgen/S7697484/>  
自動振り分けURL <https://ws.formzu.net/dist/S7697484/>



参加費：千葉県獣医師会会員無料、他 3,000円  決済 他

定員500名・YouTube見逃配信有・要登録

問合せ先

公益法人

千葉県獣医師会

〒260-0001 千葉市中央区都町 6-2-15

TEL : 043-232-6980 HP : <https://www.cpvma.com>